

## 【編集後記】「熱中症予防」

今年は梅雨明けが早く、6月から猛暑が続いている。総務省消防庁によれば、今年5月1日から8月3日までの熱中症による救急搬送者数（速報値）は62,633人で昨年同時期を3,800人以上上回った。最近では、政府や自治体、マスコミの警戒情報や注意喚起も強化されているが、そのような中、今年から労働安全衛生法の規則が改正され、企業が職場の熱中症対策を強化することが義務づけられた。症状が疑われる従業員をいち早く発見し、休ませたり医療機関に連れて行くこと、また、そうした際の手順や連絡体制の整備も不可欠となる。屋外・屋内を問わず職場に空調機器や飲み物を備えたり、通気性の良い服装の貸与や朝夕の涼しい時間帯への作業のシフトなどの配慮も必要となろう。

毎年、高齢者を中心に1,000人以上の人が熱中症で亡くなっている。もはや災害と言ってもいい事象である。一人一人がこまめな水分補給とエアコンの活用という予防策を徹底するとともに、職場や学校、家庭を含めた社会全体での取り組みが望まれる。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2025年8月号（通巻63号）

- 発行日 令和7年8月25日
- 発行所 一般財団法人日本防火・防災協会
- 編集発行人 高尾 和彦
- 〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号（日本消防会館内）  
TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851  
URL <https://www.n-bouka.or.jp>
- 編集協力 近代消防社